

## 2. 【水域：蓄養・養殖水面】 魚価向上に資するイシダイ蓄養水面としての活用 ：小田原漁港（神奈川県小田原市）

### 概要

- 小田原漁港では、定置網漁業の漁獲物の安定供給を図るため本港での蓄養に取り組んでいたが、水面が手狭になった。
- 新港西側に蓄養水面を新設。通水口を設けることで海水交換に配慮。イシダイの蓄養を実施。
- 出荷調整やロットを揃えて出荷することにより、単価の上昇に貢献。



### 背景

- 地域における水揚の8割を占める定置網漁業の漁獲物の安定供給と、経営改善のための対策が必要。
- 平成18年より本港で蓄養を開始したが、手狭になった。

### 有効活用の内容

- 平成29年より新港の西側に蓄養水面を新設。水産流通基盤整備事業により、防波堤の改良を行い、新港の間に通水口を設けて海水交換にも配慮している。
- イシダイ等を蓄養し、ロットをそろえて出荷している。また、港内の底質への影響を考慮し、無給餌としている。
- 県水産技術センターが、蓄養することで魚価の向上が見込める魚種の研究をするなど、漁業者の活動を支援する体制が構築されている。
- メイン魚種としてイシダイを蓄養し、その他、ショウゴ（カンパチ子）、ウマヅラハギ、カワハギ、マダイ、メイチダイ、ワラサ、ヒラマサなど多魚種の蓄養を試みている。

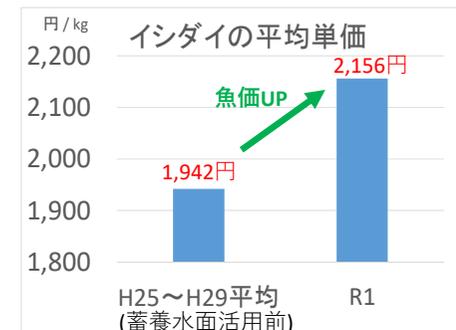
活用した漁港施設	水域
実施時期	平成29年頃～
実施主体	小田原市漁協（定置部）
活用した事業	水産流通基盤整備事業
実施した手続き	占用許可

### 小田原漁港



### 効果

- イシダイ漁獲量に占める短期蓄養出荷の量は8割以上である（R1年度実績）。
- 蓄養して出荷調整を行うことにより、平均単価の上昇に貢献している。



- 通常出荷では、値段の安い小型サイズ(900g以下)のイシダイは1,000円/kgを下回る事があるが、短期蓄養によりまとめて出荷することで1,200～1,300円/kgで出荷する事ができる。